学校番号	315

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理・表現Ⅲ	2	第３学年	・be Logic and Expression Ⅲ ・エスト英作文改訂版 ・3rd Edition 英文法・語法 Engage

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・予習をしていることを前提に授業を進めていきます。

・既習の知識・技能を深めるとともに文法や表現方法をさらに定着させて、学んだことを用いて伝えたいことを表現する力を養います。

・話すことや書くことを中心とした総合的な言語活動を通して、英語でコミュニケーションを図るために必要な発信能力を強化するとともに、実践的に情報や考えなどを論理の構成や展開を工夫して伝える能力を養います。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・相手の言ったことを、正しく聞き取ることができる。 ・ナチュラルなスピードでネイティブの英語を聞き、それについて正しい解答を選ぶことができる。 ・発表者・発言者の言ったことを正しく聞き取ることができる。	・入試レベルの社会的な話題や時事問題、科学的･歴史的な話題等、様々な話題の文章を、速読して概要を掴むことができる。 ・難解な英文を精読して情報や考えなどの要点や詳細を捉え、的確な日本語に訳すことができる。 ・辞書や資料を必要に応じて適切に使いこなすことができる。	・相手や自分の状況に応じて表現を柔軟に用いて意思の疎通ができる。 ・自らの意見を、聞き手が誤解しない発音や表現で伝えることができる。	・決められたテーマや自分が選んだテーマについて表や絵などを用いて聞き手の様子を見ながらプレゼンテーションを行うことができる。 ・発表者･発言者の言ったことを正しく聞き取ることができる。	・１・２年次より学んだ文法･表現を使って的確な英文を書くことができる。 ・与えられたテーマや問題について、自分の意見･考えを持ち、それを説得力のある文で表現できる。 ・文やパラグラフの構成に基づいて論理的に文章を書くことができる。 ・辞書や資料を必要に応じて適切に使いこなすことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	［知識］ 英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。 ［技能］ 目的や場面，状況に応じて，自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けている。	目的や場面，状況に応じて，自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，詳しく話したり書いたりして伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手･読み手など他者に配慮しながら，主体的･自律的に表現しようとている。

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	・be Logic and Expression III (Lesson 1～3) ・エスト英作文改訂版 (Chapter1～5) ・Engage Field1,2	聞くこと	a: 様々な資料の内容を聞き取ることができる。 b: 聞き取った内容を理解し、情報を整理して自分の考えをまとめることができる。 c: 資料を聞き取り、内容を理解して自分の考えをまとめようとする態度が見られる。	授業内活動 （リスニング）
		読むこと	a: 様々な資料の内容を読み取ることができる。 文法面では「時制」「助動詞」「受動態」、機能表現面ではプレゼンテーションに必要な「論理展開を示す表現」を理解している。 b: 「観光地の紹介サイト」、「街が抱える課題」に関する資料などを通じて、取り上げられている内容について考えを深めることができる。 c: 資料を読み取り、内容を理解して、まとまりのある文を理解しようという態度が見られる。	定期考査 （リーディング） 授業内課題
		話すこと （やり取り）	a: 単語を正しく発音することができる。意味の区切りを意識して話すことができる。抑揚やアクセントを付けて話すことができる。学習した表現を正しく使うことができる。 b :「自分が行きたい街」や「街が抱える課題」について、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを、やり取りの表現を用いて詳しく伝え合うことができる。 c: 自分の考えや気持ちなどを相手にわかりやすく効果的に伝えようとする態度が見られる。	授業内活動 （スピーキング）
		話すこと （発表）	a: 単語を正しく発音することができる。意味の区切りを意識して話すことができる。抑揚やアクセントを付けて話すことができる。学習した表現を正しく使うことができる。 b:「魅力ある街づくりの提案」というテーマで、基本的な語彙や文法を活用して、論理構成を意識してスピーチ原稿を作成し、「どのように伝えるのか」を意識して発表することができる。 c: 自分の意見・主張などを相手にわかりやすく効果的に伝えようとする態度が見られる。	授業内活動 （スピーキング）
		書くこと	a: 語彙や文法・構文等が正しい英文をかける。 b:「魅力ある街づくりの提案」に関して、論理的に考えを構成し、自分の意見を複数の段落を用いて書くことができる。 c: 自分の意思や主張などを読み手にわかりやすく効果的に伝えようとする態度がみられる。	定期考査 （ライティング） 授業内課題
	期末考査			
2学期	・be Logic and Expression III (Lesson 4～9) ・エスト英作文改訂版 (Chapter6～15) ・Engage Field2,3	聞くこと	a: 様々な資料の内容を聞き取ることができる。 b: 聞き取った内容を理解し、情報を整理して自分の考えをまとめることができる。 c: 資料を聞き取り、内容を理解して自分の考えをまとめようとする態度が見られる。	授業内活動 （リスニング）
		読むこと	a: 様々な資料の内容を読み取ることができる。 文法面では「比較」「副詞」「形容詞」「関係代名詞」「分詞」「不定詞」、機能表現面では「列挙・理由・対比」「原因・結果」「逆説」「問題提起」などの論理を展開する上で必要な語句や表現を理解している。 b: 「時間の過ごし方」「スポーツ」」「翻訳が伝えるもの」「気候変動」「これからのエネルギー源」「環境問題」に関する資料などを通じて、取り上げられている内容について考えを深めることができる。 c: 資料を読み取り、内容を理解して、まとまりのある文を理解しようという態度が見られる。	定期考査 （リーディング） 授業内課題
		話すこと （やり取り）	a: 単語を正しく発音することができる。意味の区切りを意識して話すことができる。抑揚やアクセントを付けて話すことができる。学習した表現を正しく使うことができる。 b :「時間の過ごし方」「スポーツ」」「翻訳が伝えるもの」「気候変動」「これからのエネルギー源」「環境問題」について、基本的な	授業内活動 （スピーキング）

			語彙や文法を活用して、自分の考えを、やり取りの表現を用いて詳しく伝え合うことができる。 c: 自分の考えや気持ちなどを相手にわかりやすく効果的に伝えようとする態度が見られる。	
		話すこと （発表）	a: 単語を正しく発音することができる。意味の区切りを意識して話すことができる。抑揚やアクセントを付けて話すことができる。学習した表現を正しく使うことができる。 b:「ことばと文化」「新エネルギーのメリット・デメリット」というテーマで、基本的な語彙や文法を活用して、論理構成を意識してスピーチ原稿を作成し、「どのように伝えるのか」を意識して発表することができる。 c: 学習した表現や文法を用いて、自分の意思や考えを相手になんとか伝えようとする態度がみられる。	授業内活動 （スピーキング）
		書くこと	a: 語彙や文法・構文等が正しい英文をかける。 b:「ことばと文化」「新エネルギーのメリット・デメリット」に関して、論理的に考えを構成し、自分の意見を複数の段落を用いて書くことができる。 c: 自分の意思や主張などを読み手にわかりやすく効果的に伝えようとする態度がみられる。	定期考査 （ライティング） 授業内課題
	期末考査			
3学期	・be Logic and Expression III (Lesson 10～12) ・エスト英作文改訂版 (Chapter16～20) ・Engage Field6	聞くこと	a: 様々な資料の内容を聞き取ることができる。 b: 聞き取った内容を理解し、情報を整理して自分の考えをまとめることができる。 C: 資料を聞き取り、内容を理解して自分の考えをまとめようとする態度が見られる。	授業内活動 （リスニング）
		読むこと	a: 様々な資料の内容を読み取ることができる。 文法面では「不定詞」「動名詞」、機能表現面では「賛成・反対」「根拠」「理由」を示す表現を理解している。 b: 「グローバル化のためにできること」「フェアトレード」「貧困のない世界」に関する資料などを通じて、取り上げられている内容について考えを深めることができる。 c: 資料を読み取り、内容を理解して、まとまりのある文を理解しようという態度が見られる。	定期考査 （リーディング） 授業内課題
		話すこと （やり取り）	a: 単語を正しく発音することができる。意味の区切りを意識して話すことができる。抑揚やアクセントを付けて話すことができる。学習した表現を正しく使うことができる。 b：「グローバル化のためにできること」「フェアトレード」「貧困のない世界」について、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを、やり取りの表現を用いて詳しく伝え合うことができる。 c: 自分の考えや気持ちなどを相手にわかりやすく効果的に伝えようとする態度が見られる。a: 単語を正しく発音することができる。意味の区切りを意識して話すことができる。抑揚やアクセントを付けて話すことができる。学習した表現を正しく使うことができる。	授業内活動 （スピーキング）
		話すこと （発表）	a: 単語を正しく発音することができる。意味の区切りを意識して話すことができる。抑揚やアクセントを付けて話すことができる。学習した表現を正しく使うことができる。 b: 「移民の受け入れ」というテーマで、、基本的な語彙や文法を活用して、論理構成を意識してスピーチ原稿を作成し、「どのように伝えるのか」を意識して発表することができる。 c: 学習した表現や文法を用いて、自分の意思や考えを相手になんとか伝えようとする態度がみられる。	授業内活動 （スピーキング）
		書くこと	a: 語彙や文法・構文等が正しい英文をかける。 b: 「移民の受け入れ」に関して、論理的に考えを構成し、自分の意見を複数の段落を用いて書くことができる。 c: 自分の意思や主張などを読み手にわかりやすく効果的に伝えようとする態度がみられる。	定期考査 （ライティング） 授業内課題
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度